

早期稲作情報 第3号

令和6年7月8日
J A む な か た
北筑前普及指導センター

6月以降の平均気温は平年並み～高く推移しています。17日の梅雨入り後、まとまった降雨が時々みられます。現在、早期水稻は穂ばらみ期を迎えています。葉色はやや淡く、葉は直立しており、生育は概ね順調です。

予想される出穂期は平年より早く、7月15日前後と思われます。

1. 水管理

出穂～開花期での水不足は、登熟不良を起こしやすくなります。

水が不足する場合でも、計画的配水を行いながら、浅水管理（最低でも黒湿りの状態を保つように）しましょう。用水確保が難しいほ場では、水尻のせき板を高さ5cm程度に設定し、できるだけ雨水をほ場内に留めるようにしましょう。

早期落水は、登熟不良・品質低下を招きます。収穫1週間前までは間断かん水を続けてください。

2. 病害虫防除

【トビイロウンカ】

発生は特にみられませんが、今後ほ場の発生状況を確認し、多い場合（20頭/100株）は防除を行いましょう。

【斑点米カメムシ類】

今年も、カメムシ類（イネカメムシ、ミナミアオカメムシ等）の発生に注意しましょう。

※イネカメムシは7月以降稲穂に飛来します。防除は出穂期と出穂期の7日後の2回防除が基本です。

出穂直前の畦草刈りは、畦からほ場にカメムシ類が移動する恐れがあるので畦草刈りは早めに行いましょう。



【紋枯病】

近年収穫期に紋枯病が多発しています。前年多発したほ場では菌が残っている可能性が高いので注意が必要です。

右上の表を参考に、出穂期前後の防除を徹底しましょう。

《出穂期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
ダブルカットバリ ダトレボン粉剤3 DL	3～4kg/10a	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類
ダブルカットバリ ダフロアブル	1000 倍	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病
ゴウケツモンスタ ー粒剤	3kg/10a	出穂5日前まで 収穫 45 日前まで	いもち病、紋枯病 稲こうじ病、ウンカ類 カメムシ類他
エクシード フロアブル	2000 倍	収穫 7 日前まで	カメムシ類、ウンカ類

《穂揃い期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
スタークル粉剤 DL	3kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 7 日前まで)	ウンカ類 カメムシ類
スタークル液剤 10	1000 倍		
スタークル豆つぶ	250g/10a		
キラップ粉剤 DL	3～4kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 1 4 日前まで)	
キラップフロアブル	2000 倍		
キラップ粒剤	3kg/10a		

※液剤は散布後一旦乾けば降雨にあたってもかけ直しの必要はありませんが、粉剤は散布後殺菌剤で 6 時間、殺虫剤で 3 時間以内に降雨があった場合は、かけ直した方が効果は安定します。

※ミツバチへの危害防止のため、スタークル剤（粉剤・液剤）を稲の開花期に散布することは避けてください。

★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1 週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ⑤ 防除履歴の正確な記帳